

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について (適切な『学校経営・運営ビジョン』となっているか。 適切な評価計画を立てて分かりやすく保護者等に提示しているか。 リーダーシップのもとに評価活動が組織的な取組みとなっているか。 教職員には評価活動が浸透し、積極的に推進できているか。)</p> <p>○ 適切に実施されていると判断いたします。 ○ 「学校経営・運営ビジョン」が適切であり、それをもとに組織的に取り組まれ評価が行われている。 ○ 分かりやすく表現されている。 ○ 校内の組織体制はよく構築されている。また、様々な機会を通じ保護者などに提示されている。評価活動も問題点を把握・精査し、積極的に行われていると感じる。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の内容と自己評価計画について (『学校経営・運営ビジョン』をもとに、評価活動が学校改善に向かっているか。 常に自己評価は全体の評価に連動し、評価活動が学校全体で展開しているか。)</p> <p>○ 適切に学校改善に向かっていると判断いたします。 ○ 「学校経営・運営ビジョン」をもとに、きちんと評価活動が行われ、改善に向け努力されている。 ○ 内容は理解されていると思うが、生徒ファーストで評価しているか。 ○ 学校、教職員の自己評価については、かなり熱心な取り組みがされていると感じるが、生徒達への明確な波及となると苦慮されている面もあるのでは。</p> <p>I. 3 広報とアンケート等について (学校から、保護者や地域の人々へ情報が提供され、学校課題を発見するためのアンケート等を行って、その公開に学校は責任をもってあたっているか。)</p> <p>○ 責任ある運営をされておられます。 ○ 広報等での情報提供がよくなされている。アンケート等については、実施状況が分からないのが残念である。 ○ ホームページや新聞記事などで、生徒の活躍が報じられている。 ○ 細部にわたりよく行われていると感じる。</p>	<p>○ 『学校経営・運営ビジョン』の重点事項について、各部、科、各委員会等で検討し、課題や、手立てなど具体的に出し合った。作成された『学校経営・運営ビジョン』については、職員会議において説明し、学校全体で課題意識の共有化を図ることができた。</p> <p>○ 保護者・地域に対しては、PTA総会で『学校経営・運営ビジョン』を配付して説明するとともに、HPにも掲載して周知を図ることができた。</p> <p>○ 次年度以降も、分かりやすく、見やすい「学校経営・運営ビジョン」の作成に心がけていきたい。</p> <p>○ 『学校経営・運営ビジョン』に基づき、各組織ごとの反省と、教職員個人の自己評価が連動するように年間計画を作成した。各部の反省（自己評価）様式を統一し、次年度に向けての課題が明確にできるよう工夫していきたい。</p> <p>○ 自己評価にとらわれすぎず、アンケートや各部の反省から浮かび上がった課題を改善できるよう努力していきたい。</p> <p>○ 情報発信については、HP、メール配信による「39メール」、その他紙媒体での情報発信を行ってきたが、平成30年度は、保護者への情報提供手段として39メールを積極的に活用していきたい。</p> <p>○ 学校評価に関する生徒・保護者・教職員によるアンケートを、学校課題発見の糸口としていきたい。</p> <p>○ 中学校や地域住民の方々に本校のよさを知ってもらうため、今年度もHPや市の広報紙を活用するなどして、外部へ情報発信していきたい。</p>

<p>I. 4 取組み状況全体について (学校の中に閉ざされた部分が残り、生徒や保護者及び地域社会が困ったりしないか。教職員の日々の活動が教職員の仕事の見直しと改善とにつながっているか。学校の特徴が生かされ、生徒や保護者の満足度は高くなっているか。)</p> <p>○ 適切に運営されておられます。 ○ 生徒・保護者の一番の思いは、進路希望の実現であると思う。そこを大切にした取り組み如何で生徒や保護者の満足度が変わってくるのではないかと。 ○ 地域で生徒の問題行動は聞いてないし、本校は安心して生活できる学校である。 ○ 様々な取り組みが、よく配慮され実施されている。また、校長はもちろんのこと教職員の皆さんの生徒達への「真心」を感じます。</p>	<p>○ 日々の教育活動が生徒の進路希望の実現に繋がるように、組織的に教育活動を展開していきたい。 ○ アクティブラーニングなど、学力の三要素を伸ばすための手立てとして授業方法の改善が求められている。次年度も継続して授業方法の改善や工夫に努めていきたい。 ○ 基本的な項目において生徒及び保護者から高い評価を得ているものが多く、日頃の学校の教育活動が評価されている。今後も評価されるように継続して努力したい。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>II 『学校経営・運営ビジョン』の重点事項への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>II. 1 『学校経営・運営ビジョン』について (生徒や学校・地域の実態を踏まえた適切な教育目標を設定し、わかりやすく保護者等に学校の活動全体を提示し、目標に向かって改善が行われ、次のビジョンへ展開しているか。)</p> <p>○ 適切に実施されておられます。 ○ 実態を踏まえた分かりやすい「学校経営・運営ビジョン」であり、目標達成に向け取り組まれている。 ○ 反省点を踏まえ、教職員が連携して取り組んでいる。 ○ 設定・提示は明確、適正に行われ、改善に向け努力されており、今後のビジョン展開にも工夫がある。</p> <p>II. 2 重点事項の組織的な取組みとその改善状況について (学校の課題が明らかになり、その課題を共有し、改善に取り組んでいるか。その展開速度は適当か。改善活動は良好な結果につながったか。)</p> <p>○ 適切に運営されておられます。 ○ 重点事項の組織的な取り組みはなされているが、それぞれの活動内容については整合性も考えてみる必要があるのではないかと。評価結果から見えてきた課題の解決に期待したい。 ○ 生徒一人一人の様子を見るのは困難かも知れませんが、様子変な場合、チームとして見守ることが必要。手紙などで生徒の様子を伝えたり、もっと家庭との連携をとるべき。 ○ 学校・教職員と生徒側には常に温度差、スピード感の際は存在すると思うが、ひとつひとつ丁寧に多角的に取り組み、学校内に躍動感が生まれてくることを期待します。</p> <p>III その他</p>	<p>○ 教育の継続性の観点から『学校経営・運営ビジョン』の5つの努力目標及び重点目標については、大きく変更しなかった。 ○ 『学校経営・運営ビジョン』については、中長期ビジョンである『安達高校の挑戦』とともに、様々な機会を捉えて保護者等に理解が深まるようにしていきたい。 ○ 生徒・保護者によるアンケートを実施して課題の発見に努めてきた。また、日頃の教育活動での出来事については、問題を教職員全体で共有しながら組織的に対応した。 ○ ESDの教育活動については、本年度の『学校経営・運営ビジョン』にも明記し、その位置づけを明確にした。次年度のESD教育の計画的な活動によって、さらに組織力の強化を図りたい。 ○ 今年度ESD活動を通じて、関係大学の他、二本松市</p>

### Ⅲ. 1 地域社会との連携についての更なる活動へのアドバイス

- 特にございません。
- 特にありません。
- 定員割れをしないように、進学率を高めるために塾の先生との交流もよいのではないか。
- よく取り組まれていると思うが、以下の例のようなものもあるので、チャンスがあれば是非取り組んでみたらどうか。
  - ①二本松では福島大学の教授と連携で「ビエンナーレ」「重陽の芸術祭」などが開催されているので、参加の場があれば。
  - ②「子どもに贈る音楽会」
  - ③JICAの訓練生との交流
  - ④二本松桜に代表される宝物への関心

### Ⅲ. 2 開かれた学校づくりについての更なる活動への展開へのアドバイス

- 現在のご努力を継続されていればと存じます。
- 特にありません。
- 地域の特色を活かした、商品開発（食品・物産）の提案。
- 上記の様なものへの参加を通じて地域との結びつきを深められたらよいと思います。

### Ⅲ. 3 その他

- 特にございません。
- 「生徒・保護者の評価」の結果はどうだったのか、そこから見えてくる課題もあるのではないか。
- 電子黒板とスマートフォンを利用する授業を試してみてもどうか。
- 先日卒業式に出席させていただきました。おめでとうございます。緊張感と静寂の独特の雰囲気の中で挙行される卒業式、素晴らしいものでした。今は「蛍の光」「仰げば尊し」は無く、「旅立ちの日に」もいいものです。生徒達の返事・歌声が小さいのも思春期特有のもの。ある意味10代後半を生きる彼等の実像を感じて、微笑ましく感じていました。しかし、退場となり、担任への「ありがとうございました」の声を発した時、彼等の思いが大きく豊かに深く表現され、学校、担任との日々の深い関係性が窺われた感がありました。

役所・JICA二本松を初めとする地域関係機関や地元企業・農園等との連携を深めることができたのは大きな成果であったと考えている。今後も地域社会や関係機関との連携を強めながら、本校の教育活動を進めていきたい。

○ 中学校に対しては体験入学や高校説明会などを実施してきたところであるが、次年度はさらに本校の教育活動の内容を理解してもらうため、関係中学への説明を強化していきたい。

○ 中学校や地域住民の方々に本校のよさを知ってもらうため、今年度もHPや市の広報紙を活用するなどして、外部へ情報発信していきたい。

○ 教職員の指導力向上については、互見授業の他に、授業にアクティブラーニングの手法を少しずつ取り入れていくことなどにより、さらなる改善を図っていきたい。

○ 学校評議員からの貴重なご意見に加え、9月に行った生徒保護者へのアンケート結果も踏まえ、課題改善や新しい取り組みをとおして本校をよくしていきたい。